

地域の実情と課題

- ・ 秋田市人口ビジョンでは、2040年における本市の人口は、2010年と比較して約27%減少する見込みであり、多様な人材の活躍により地域社会を支えていく必要がある。
- ・ 秋田市人口ビジョンの「年齢階級別の人口移動の状況」では、15歳から29歳の若年層において大幅な転出超過となっており、地元への就業・就職の展望を描けず、東京圏に進学・就職している現状が示唆されている。

事業の特徴

- ・ 女性が少ない職業分野や多様なスタイルで活躍する女性ロールモデル4人を紹介する冊子「秋田市女性活躍応援マガジン」を制作し、広く市民へ配布したほか、進路・職業選択期にある高校生を対象に、学校を通じて個別にデータ配信を行った。

事業の効果

- ・ 制作した冊子を秋田市の施設やイベント等で配布し、女性が固定的な性別役割分担意識にとらわれず、多様で自分らしい働き方やキャリアについて広く周知した。
- ・ 進路選択期にある高校生に対し、データ配信することで、自身の適性や能力にあった進路や職業選択と地元企業への関心を高めるとともに「地域で活躍する自分」の将来像のイメージ形成につなげることができた。
- ・ 多様なスタイルで活躍するロールモデル2名の職場を訪問し、インタビューしたほか、現役大学生をインタビュアーに秋田に移住した女性、Aターンした女性から「自分らしい働き方」をテーマに対談し、秋田で働く魅力やキャリア展望などを紹介することができた。

目的・目標

- ・ 事業目標のロールモデル事例数4人に対し、4人で達成率は100%であった。
- ・ リーフレットデータ配信高校数の目標12校に対し、20校と達成率は166.7%で、秋田市のみならず近隣地域を含む高校生に対し、幅広く効果的に情報提供することができた。

【目標】 ロールモデル事例数 4人⇒【実績】 4人
データ配信高校数 12校⇒【実績】 20校

連携団体

「秋田市男女共生推進会議」

【構成団体】 秋田県立大学、秋田商工会議所、秋田人権擁護委員協議会、一般社団法人秋田県助産師会、秋田労働局、秋田県中央男女共同参画センター（指定管理団体－NPO法人いきいきFネット秋田）、あきたF・F推進員、市内事業所ほか

今後の課題

- ・ 女性が固定的な性別役割分担意識にとらわれず、主体的に働き方やキャリアについて考えることを支援するため、地域において様々なスタイルで活躍するロールモデルの情報提供が必要である。

女性ロールモデル等情報発信事業

女性が少ない職業分野や多様なスタイルで活躍する女性ロールモデルを紹介する「秋田市女性活躍応援マガジン」を制作した。また、進路・職業選択期にある高校生を対象に、個別にデータ配信を行った。

- 1 冊子名 女性活躍応援マガジン
- 2 制作部数 2,000部
- 3 データ配信 秋田市を含む県央地域の高校 20校
- 4 ロールモデル Aターンした女性と移住した女性
起業した女性、女性が少ない職業分野
(一級建築士)の女性
- 5 テーマ 自分らしい生き方、働き方を描く

